

令和6年第6回教育委員会定例会 議事録

1. 教育長あいさつ

新緑の山々から木々の緑が色濃くなる時期となりました。梅雨前の過ごしやすい季節。新年度がスタートして2か月が過ぎ、1学期も後半に入りました。小学校では玉江大会も終わり、修学旅行のシーズン真っただ中。中学校も同様で、本日も運動部の浜田ブロック大会の期間中です。各小・中学校では特色ある教育活動に邁進中のことと思います。

一昨日の校長会では、次の3点をお願いしました。

①災害に備えてほしい。自然災害をはじめ、熱中症、登下校、クマ被害も含めて。防災、減災を。

②6月危機、6月クライシスとも言う。なぜ6月か。緊張してスタートした4月、その疲れは5月のGWで解消して、新しい集団にも慣れてきた6月に本音や本性が友人関係でも出てくる。加えて授業も行事も目白押し。1学期の折り返しを過ぎたところ。疲れやストレスも重なってくる。天候も気温が上がり雨も多くなり、じめじめするので気分も悪くなる。いじめが発生しやすくなる頗著化するのもこの時期。

③服務について、教職員もこの時期気の緩みが出やすい。新年度のメンバーにも慣れ、疲れやストレスも溜まっている時期。交通違反、交通事故関係。わいせつ・セクハラ関係。体罰、暴言関係。守秘義務違反、個人情報漏洩関係。公金等の取扱い関係。私的な非行(窃盗、暴行、条例違反等)関係。抑止力は健全な同僚性と本人のモラル意識を醸成してもらうこと。年間計画に加えて教職員の様子を把握して、早めの相談をしてほしいと注意喚起をしました。

さて、5月末で島根県公立学校教員採用試験の申し込み締め切りとなり、先日出願状況が報道発表されました。小学校採用予定150名のところ322名が出願、倍率が2.1倍。中学校が110名のところ296名が出願し、倍率が2.7倍。養護教諭が10名に110名が出願し、11倍。栄養教諭が2名に対し25名が出願し、12.5倍。校種、職名によって大きな差となりました。「組織で人材の質を維持するのに必要とされる倍率は3倍とされ、2倍を切ると危険水域どころか警報レベルになる」と公立小学校の採用倍率の低下を報じた新聞記事がありました。出願者に非はないのですが、一人でも多くの高い使命感をもった受験者が増えてくれることを願っております。

また、資料にあるとおり、中央教育審議会初等中等教育分科会「質の高い教師の確保特別部会」では、令和5年5月の文部科学大臣からの諮問以降、教職の魅力を向上させ、教師に優れた人材を確保するために教師を取り巻く環境整備について計13回にわたり議論を積み重ね、その成果として、令和6年5月、「審議のまとめ」が発表されました。「審議のまとめ」のポイントは、学校教育の質の向上を通じた、全ての子供たちへのより良い教育の実現のため、

①学校における働き方改革の更なる加速化

②学校の指導・運営体制の充実

③教師の待遇改善を一体的・総合的に推進すべきとしていることです。

この内容は優れた教師を確保するための審議のまとめではありますが、同時に現在の学校現場で精一杯勤務している教職員にも当てはめるべき内容だと感じます。業務負担の軽減と長時間勤務を減らすこと、そして教師が教育活動に専念できる職場環境の整備をより一層進めることができるよう努めたいと考えます。本日も多くの議題がございますが、慎重審議をよろしくお願ひいたします。

2. 教育長の報告（別紙 教育長勤務報告のとおり）

3. 議事録署名議員

○教育長

本日の署名委員は、岡田委員と福田委員にお願いします。

4. 議決事項

・議案第19号 江津市学校関係者評価委員の委嘱について

○大石課長より説明 委員からの意見・質疑なし

5. 報告事項

- ① 相談箱の投函に係る対応等について
○大石課長より説明 委員からの意見・質疑なし

6. その他

- ① 島根県市町村教育委員会連合会 研修会について
○大石課長より説明
日程 令和6年10月7日(月)
会場 ラピタウェディングパレス(出雲市今市町)
講師 今井むつみ 氏
- ② 教育委員の学校訪問(中学校)について
○大石課長より説明
7月9日(火)に実施 市内4中学校(校長面談及び授業参観)

- ③ 江津市人権・同和教育講演会について
○藤岡課長より説明
日時 令和6年8月2日(金) 13:30～15:00
会場 江津市総合市民センター大ホール
講師 田中 宝紀(いき) さん
演題 外国にツールを持つ子供たちに学びとつながりを
～日本社会に潜む3つの壁とは～

【追加】

(事務局から)

- ・働き方改革講演会の実施
日時 令和6年8月9日(金) 13:30～15:40
会場 パレットごうつ大ホール
講師 湘南学園 学園長 住田 昌治 氏
・院展の開催について

(教育委員から)

西部統合小学校の体育館のエアコン設置について

- 福田委員
後付けすると補助金が出なくなる可能性があるので、最初から設置を考えてはどうか?
○大石課長

統合小学校の基本設計の仕様書の中に体育館の冷暖房を入れている。断層断熱工事も一緒にしないと、補助対象にしないと言われている。また、統合小学校だけやると不公平感が出てきるのでそれに合わせて残った学校についても設置をする流れになろうかと思う。

また建設された体育館では大会の開催や避難所などでの使用も考えられるので大きさについても考慮する必要がある。

学校通知表について

- 天倉委員
今年度より津宮小と渡津小が2回にすると聞いた。教職員の負担は軽くなっているのか。
○福田委員
評定だけでなく所見があつた方が保護者としてはうれしい気がする。
○教育長
所見は3学期に書いている。学校側も以前のように所見で、児童生徒のネガティブな部分を書きにくい時代になってるので、期末懇談で担任が口頭で伝えている。口頭の方が残らなくて伝え

やすい部分もあるのかもしれない。

教員は、授業が一番大事だと思うが、授業をやることは準備と授業と評価もあるので、その評価の部分はやっぱり授業した教員がきっちと、どういった評価を出すのか、そしてまたそれをどう伝えるのかというところまで、非常に大切な部分ではないかと思う。

○佐々木委員

合理化や効率化は必要だが、教員の専門性とは何かについて、今一度考える必要があるのでは？
子どもたちのための教育であってほしい。

○教育長

働き方改革が叫ばれている中で、先生でなくてもできる業務は他に任せることは必要だが、教師の専門職としての部分は譲ってはいけないと感じている。勢いに任せてどんどん簡略化していくことは、やや不安に思う。これについては、今後も継続して話し合いをさせていただきたい。

子どもたちの悩みについて

○岡田委員

5月のゴールデンウィーク以降に不登校が増えたということはないか。

中学校には心の相談箱が設置されているが、小学校では必要ないか。

○教育長

ゴールデンウィーク以降、いじめや不登校が増えてきているという報告は、今のところ聞いていない。中学校には相談箱を設置しているし、アンケート QU や市としても年2回いじめ等のアンケートを実施しているのでそこで把握を行っている。さらに毎学期で担任等による教育相談も実施している。そういうた幾つかの声を出せる場を提供することで、重くなる前にどこかで子どもがその意思表示をしてくれるとよいと思う。

午後2時55分終了